令和６年度 北浜北小学校 学校評価

Ⅰ　令和６年度の取組

【学校教育目標】　夢に向かって　輝き合う子	【今年度の重点】主体的に活動する子の育成	【合言葉】自分から
【心　にこにこ】　自分も友達も大切にする子	**【学び　はきはき】　進んで学ぶ子**	**【体　ぐんぐん】　心と体を鍛える子**
○　自分のよさを見つけ、自分に自信をもつ。 ○　友達の気持ちを考えて行動する。 ○　気持ちのよいあいさつを交し合う。 【手立て】 ・だれもが自分の居場所を実感し、安心感を抱ける学級づくり ・異学年交流活動（縦割り清掃、縦割り遊び）の充実 ・ピア・サポート等にいじめ予防と人間関係作り ・子供たちから発信する「浜松No.１」を目指す取組	○　課題解決に向けて意欲的に学ぶ。 ○　課題解決に向けて友達と学び合う。 ○　自分の学びを見つめ、次の学びに生かす。 【手立て】 ・「自分ごと」として捉えられる課題設定 ・友達と協働しながら行う探究的な学習や体験活動 ・校内研修による、児童が主体的に学ぶための授業改善	○友達と進んで体を動かす。 ○目標をもって、粘り強く取り組む。 ○健康で安全な生活を送る。 【手立て】 ・運動する楽しさを味わわせる体育科授業 ・目標をもち、自分の成長を実感できる振り返りカード ・ふわふわタイムでの生活習慣啓発や、安全意識の高揚
《キャリア教育の４つの視点》	《教師宣言》	《コミュニティ・スクールによる学校支援体制》

Ⅱ自己評価

○　児童の評価（※はいじめ防止に係る項目）

主体的に活動する子の育成	夢や目標をもち、その達成に向けて、挑戦したり努力したりしている。	88.9%
	学校は楽しい。（※）	88.7%
	自分で考え判断し、行動している。	84.6%
徳　にこにこ	周りの人に、思いやりの心をもって、接する。（※）	88.3%
	自分のよいところを見つけ、自分に自信をもって生活する。	81.0%
	気持ちのよい挨拶をする。	89.9%
知　はきはき	授業の内容がよく分かる。	90.9%
	めあてが分かり（理解し）自分なりに解決しようと取り組む。	88.3%
	友達の考えをしっかりと聞いたり、自分の考えを進んで伝えたりする。	89.9%
	自分の学びを振り返り、次の学びに生かそうとする。	84.2%
体　ぐんぐん	目標をもって運動に取り組む。	88.2%
	友達と進んで運動する。	87.2%
	健康と安全に気を付けて過ごしている。	91.9%

○　職員の評価

・「主体的に活動する子」を目指し、「自分から」を合言葉に活動を進めた。係活動や委員会活動を通し、当番活動ではなく主体的に考えた活動が行えるように投げ掛け、高学年を中心に、主体的に活動する姿が増えてきた。
・「浜松あいさつＮｏ．１」を合言葉に、児童会や６年生を中心に盛り上げる活動を考え実施した。スローガン「あいさつ いつでも 自分から」を立て、イベントを行ったり、子供たち同士で関わり合ったりすることで、相手の顔を見てあいさつしようとする子は増えた。逆に、あいさつ通りでのあいさつは、進展が見られなかった。
・清掃や遊びなどに縦割り活動を取り入れた、6 年生がリーダーとして成長した。来年度も、多くの活動に縦割り活動を取り入れ、リーダーを育てるとともに、相手を思いやる心を育てていきたい。
・主体的に学習へ取り組む子を目指し、各学年で取り組んだ。様々な手立てを講じたことで、自分から解決しようとする姿が見られた。しかしながら、自分の意見を他者に伝えることの苦手な児童や間違いや失敗を恐れて自分の考えを発表しようとしない子も多い。引き続き、友達と考えを深めていく協働学習に力を入れていきたい。
・授業等において ICT 機器が活用できるよう取り組んだが、モラル指導、個別最適な学習の方法となるように、有効的な活用を計画的に進める必要がある。
・学校支援 CD の支援体制が充実し、授業の見守りや地域の方や専門性をもつ方との体験的活動を行うことができた。
・いじめ防止基本方針に則り、早期発見のために毎月アンケート、担任による全員聴き取り、いじめ対策委員会を実施した。案件の多くは、言葉遣いや間違った関わり方による小さなトラブルであった。早期解決につながったが、多くの時間を費やした。
・不注意による小さなけがや不安などからくる保健室の来室数が増えていた。教室や廊下歩行、遊具の遊び方を徹底することと教室が安心できる場所となるようピア・タイムを一層強化したい。

○　保護者の評価（※はいじめ防止に係る項目）

主体的に活動する子の育成	子供たちは、夢や目標をもち、その達成に向けて、挑戦したり努力したりしている。	76.8%
	子供たちは、学校は楽しいと感じている。（※）	92.0%
	お子さんは、自分で考え判断し、行動している。	83.2%
徳　にこにこ	子供たちは、周りの人に、思いやりの心をもって、接している。（※）	93.5%
	子供たちは、自分のよさを知り、自分に自信をもって生活している。	75.7%
	子供たちは、気持ちのよい挨拶をしている。	71.8%
知　はきはき	子供たちは、授業の内容を理解している。	83.0%
	子供たちは、課題をもち、自分なりに解決しようと取り組んでいる。	67.9%
	子供たちは、友達の考えをしっかりと聞いたり自分の考えを進んで伝えたりしている。	74.7%
	子供たちは、自分の学びを振り返り、次の学びに生かそうとしている。	64.3%
体　ぐんぐん	子供たちは、目標をもって運動に取り組んでいる。	74.2%
	子供たちは、友達と進んで運動している。	70.6%
	子供たちは、健康と安全に気を付けて過ごしている。	88.3%
学校	教職員は、子供たちを理解し、個を大切にした指導を行っている。	92.6%
	学校は、お子さんにとって、安心して安全に過ごせる場所になっている。（※）	93.9%
	学校は、保護者からの相談等に丁寧に対応している。	93.9%
	学校の行事や参観会、便りやブログなどは、小学校の様子を知るのに役立っている。	94.5%
	コミュニティ・スクールの活動を知っている。	48.4%

Ⅲ　学校運営協議会による学校関係者評価

・　子供たちが楽しそうに授業に取り組む姿が、年々増えている。
・　タブレットで、学校とつなぐことができる。不登校の児童に生かせる活用方法はないか、考えていってほしい。
・　コミュニティ・スクールの周知割合は増えているが、引き続き、子供たちへのよりよい支援と共に、保護者への周知を図っていきたい。
・　学校運営協議会委員に、自治会の方も入る方が、防災の観点からも、必要な情報が共有できると思う。

Ⅳ　今後の改善方策

◇「主体的に活動する子」を目指し、創立５０周年記念とからめながら総合的な学習の時間と生活科を窓口に研修を行う。
◇　学校支援 CD と連携し、多くの目で子供たちを見守るとともに、専門的かつ体験的な学習の場を計画的に設定する。
◇　縦割り活動をさらに活性化し、児童の居場所作りや自己肯定感を高める活動につなげていきたい。また、ピア・サポートを取り入れ、心の教育を位置づけることで人とのかかわり方を学び、温かい風土づくりを行い、いじめの未然防止に努める。
◇　職員が、いじめ防止基本方針を理解し、学校体制でいじめ対策に取り組んでいく。
◇　委員会活動、係活動よる児童の自治的活動を学年・学級で仕掛け、主体的に学校や学級をよくしていこうとする態度を養い、自己肯定感を高める。　◇　防災教育の推進。
◇　不登校児童とつながりを保つため、タブレットの活用を今後も進めていく。様々な活用法を模索していく。
◇　情報活用能力の育成、情報モラル指導を行い、タブレット等 ICT を有効活用した授業の推進、家庭学習を実施する。
◇　交通安全や災害に備え、雨天時の道路状況などを、地域の方と共有していく。